化 強 拡 運



19春闘 阪神支部のたたかいの経過報告

全員が冷静に考え、平和を 25回参議院議員通常選挙に 貫いてきた歴史を次の世代 より7月21日に行われた第 議が大阪港湾労働者福祉セ ついてふれられ、「 有権者 ンター にて行われました。 はじめに久保田書記次長 ります」と強く訴え、 用と暮らしを守らせる運動 の挨拶となりました。 を改めて強化する必要があ

の中央団交の現状につい 議制の問題点、 畠山秀員長より全国港湾 特に産別最賃と事前協 上組のスト

06-6574-8424

2019.8.28 NO.632 号

ました。 代になりつつあるので知っ ットでしか処理出来ない時 書類についてもインターネ ンズ)」について、「港湾 が共同開発した新システム ておいて欲しい」 と話され 「TradeLens (ムンー エ.

開会

その後、河野書記長から

経 分 会 過 闘

れました。 を勝ち取ったことが報告さ 法的根拠等を用いて交渉し 不備による賃金が標準者賃 賃金差額の清算と賃金是正 た結果、9年間で発生した 金より低い格差が発覚し、 からは、考課査定の運用の 過が報告がされ、 上組分会 各分会からたたかいの経

継続課題としてたたかって 歳定年延長制度」について 提案として61歳から63歳ま たたかいでは現役社員の現 残りの65歳までの2年間を での現行労働条件100% の交渉を6年半行り、 行労働条件を引き継ぐ「65 にするよう要求し、さらに の春闘がまとまらない中、

っせん案についても話され 破りや中央労働委員会のあ

更に、IBMとマースク

者(春闘・一時金総括)会

う我々労働組合としても雇

につなげることが出来るよ

7月24日に拡大分会代表

19春闘のたたかいの経過と 特徴点についての報告があ

組んでいます。 ています。更に、 へ手渡し、抗議行動を行っ 入者は受け入れられない」

員の日検への直接雇用のた たかいを継続して行ってい 否による不当労働行為のた たかいと日興サービス組合 から引き続き、団体交渉拒 日興サービス分会は昨年

日本コンテナ輸送分会の

存在意義にもかかわる問題 ければ労働組合の弱体化や 上組によるスト破りがあ の濱田健一さんより「中央 質疑では後藤回漕店分会 運動を強化していかな が求められます。 頑張りましょう! する運動を行っていく 部が率先して存在感を発揮 と強化を繰り返し、阪 条件を勝ち取っていくため 治に歯止めをかけ、労働諸 にも日々の組合活動の上

伊支 点 検

中学生向けのテーマの一つ のヒントが貼られていた。 図書館で夏休みの自由研究

に「死語」の研究があっ

いつか「ノルマ」を使

ちこちで泳ぐ 立ち寄った

わない時代がきたらいい。

30年間放置されていた 算基礎から除外され、 未払い賃金が生じてい 住宅手当が残業代の計 全日検神戸分会では

ち取りました。 手当の全額本給化を勝 る問題について、 ジャパンエキスプレ 住宅

組」を結成し、「商船 ス分会のたたかいでは 三井がジャパンエキスプレ 総務部長が「管理職労 商船三井出向者である

的な抗議の街宣行動に取り などと吹聴し勧誘していた 用を引き継ぐが、全港湾加 て不当労働行為 (支配介 行動に対して阪神支部とし スの清算を行い、 に対しても抗議文書と継続 人) への抗議を文書で会社 ことが発覚しました。 この 商船三井 他社が雇

る」運動を展開して影響力 地域で、「見える・聞」 は不可欠です。安倍暴生 をより大きくしていくこと 要求としてたたかいを進め てきました。 私たち労働組合が職場 遊 こえ 場や

的な生活が営める賃金確立 族が人間らしく健康で文化ベア要求は労働者とその家 数字の上でも出ています。 みられる中での今春闘 を目指すための当たり前の 月には消費税増税がある り、ここ数年と比較して 出されました。 やや厳しい春闘であっぇ になってくる」 そのような状況の中、 港湾全体の物流の減 との意 たと ても であ 少が 10

畠山委員長から19春闘中央団交報告

地よい。日本語

ー」や「スパシ

も、「ハラショ 同じロシア語で

ı

バ」は耳に心

「ありがとう」。口に それに比べ、「ノル では「いいな

る。それもこれも郵便局へ らしい という意味だ。 回遊魚はあ 資先を探し泳ぎ回っている れるスルガ銀行の行員がこ 泣いている 不正融資に揺 見慣れた「〒」のマークが の信頼があってのことだ。 は国民の5人に1人にな 50万人という。数の上で 追い詰めたのが過剰なノル 後、シベリア抑留から帰国 た」。ノルマに追われ、融 んな回遊魚のようだっ マというから、 やりきれな んな不正販売へ郵便局員を されたりしていたのだ。そ 齢者らが新たな契約を結ば 意味でよく使われるが、 戦 マ」のなんと重苦しい語感 するだけで気分が弾むよう んな例えをしていた。 「 み で、よく分からないまま高 だろう。 仕事の目標という したみなさんが伝えた言葉 かんぽの顧客、約26 かんぽ生命保険

組

玉

猛

秩序乱す行為を許さない

スト破りを行った上組、指定事業体の違法 派遣を責任放棄する日検、 組合への支配が る商船三井の3社に対し、 行動が展開されました。 決行中に強行に本船荷役作 において48時間ストライキ 4月15日、上組がPC18

全国各港から非難の声が沸 の態度が瞬時に全国へと 地区港湾が厳重監視強化を り」行為が発生しました。 き上がっています。 斉に拡散し、上組に対し、 していた最中に行われ、そ に全国港湾と神戸港湾を中 この卑劣な行為を重く見 いわゆる「スト破

上組本社前で怒りのシュプレ 委員会のあっせん案 行ったスト破り行為 りながら責任放棄 界の指導的立場であ 会の会長職という業 協会、兵庫県港運協 の姿勢を批判し、 乱を招いている協会 を拒否し、港湾の混 執し、また中央労働 会が独占禁止法に固 った全国港湾糸谷委 に「上組は日本港運 ついて、日本港運協 産別最賃回答拒否に 員長は、19春闘での 長い歴史上前代 自ら強行荷役を

心に6月27日、 玉田書記長、松本委員長代 全国港湾から糸谷委員長 刻にあわせ(株)上組本社前 の降る中集結しました。 わせ約88名の組合員が小雨 行委員長、松永書記長、神 抗議行動を展開しました。 事団が勢揃いし、 各単産合 事務局長をはじめとする幹 (神戸市中央区) で怒りの 、港湾から吉岡議長、高嶋 全港湾から真島中央執 朝の出勤時

者全員で怒りのシュプレヒ 竹内中央執行委員がマイク をするな!」「 港湾の秩序 で読み上げた後、行動参加 続いて抗議文を全国港湾

警戒していた神戸港に於い 為だ」と非難しました。 かわらず実行したのは極め があったが業側が事の重大 て悪質で港湾秩序を乱す行 て再三の注意をしたにもか さを認識し、回避したが、 古屋港でも強行荷役の動き **波した経過を説明し、「名** して抗議行動と抗議文を手 神戸港湾と

ました。 引き上げろ!」 を乱すな!」「 と強く訴え

長は、15日に強行荷役した

神戸港湾の磯田事務局次

り行為について港運統括責 18へ出向き、一連のスト破 該コンテナターミナルPC 港湾による組合代表団が当 抗議と上組の姿勢を問いた 任者と現場責任者に直接の そのあと全国港湾と神戸

の文書回答を要求していま 討中」として回答を避けま の文書回答については「検 あったものの、企業として 現場責任者からの謝罪は 組合側は重ねて即時

阪神支部

執行委員 鈴木 大介

代表あいさつに立

絶対許さない 口検の社会的責任を した不誠実な態度は !!

部の組合員16名による直接 労働委員会)への抗議行動 西脇書記長の賃金カット 貨物検数協会(以下日検) の不誠実団体交渉(愛知県 地方裁判所) 、名古屋支部 交渉拒否 (中央労働委員 を全港湾東京支部からの応 雇用を求める訴訟 (名古屋 で総勢約30名で取り組みま に対し、阪神支部への団体 8月1日、(一社)日本 阪神支部と名古屋支 けをしており、 動の後は座り込み行動とな を見るや否や、怪訝な顔に りましたが、関東も梅雨昍 が出来ました。 申し入れ行 が、参加された仲間の協力 なるのは、相変わらずで もかかわらず、 ビラは1000枚でした す。 今回の行動で用意した となり、労使関係があるに によりすぐに配り終える事 本部行動は今回で6回目 気温は35度 私たちの顔

部3階で木下労務部長に

申し入れ行動時に日本

るのが聞こえてきまし とが分かります。 検社内でも広まっているこ たが、熱中症には十分に を超す猛暑となってい 抗議行動における認識は めて見た」と会話をして で、日検本部に入る従 が「これが、噂の...」 して行動に取り組みまし に。座り込みをしている中 配慮

のですが、毎度のことなが し入れ書を手渡そうとする に申 **検**本 おり、困惑の表情を浮かべ **省してきたにも関わらず、** 泰な態度を改めさせるため 日検のこの様な無礼で横 法廷闘争も並行して全 広く港湾関係に訴えか

力でたたかいをすすめてい

東京支部の仲間もかけつけ日検本社前でシュプレヒコール



を持ちかけて来たのは日検 不下労務部長です。 それを せず見ているだけとなって 氏事不介入ですので、 何も でいます。 しかし、 警察も **払議行動の度に警察を呼ん** 関係を反故にし、 交渉を拒 方的な解釈のもとに労使

ら受け取りを拒否します。



受け取らない理由は「期待 のことですが、最初に協議 を持たせてはいけない」

名古屋支部書記長 敬

祭に通報したため、

商 船

で解決に向け運動を継続し からも慎重かつ迅速な対応

ていきます 副委員長

井ノ元

向に収束せず、現在も組合 す。 員の脱退勧誘が続いていま 狙った組織破壊問題は、一 の総務部長が企てた、阪神 あるジャパンエキスプレス 支部分会の分断と弱体化を 商船三井からの出向者で

4名の仲間と共に街宣抗議 ての抗議を行いました。 ビラの配布とマイクを使っ 行動に取り組みました。 より10名、名古屋支部より り阪神支部10名、東京支部 船三井社前において早朝よ 虎ノ門に本社を構える㈱商 及するため8月2日、東京 商船三井の親会社責任を追 出向役員の人事権を持つ 這伝カー 4台を配置し、

る抗議行動でしたが、これ

受けました。

名に増員。 井は当初1名の警備員を4 宣伝開始早々に、商船三

持って社内に入ろう 矢先、商船三井は警 告に向かおうとした 任者を呼ぶよう」伝 責任者に「ここの責 としましたが、 過しても音沙汰がな いため再度社内に通 してきたため、警備 しかし、時間が経 抗議文を 制止 全港消東京支加

えました。

商船三井本社前で抗議

人、神戸で5000人、

施設内には18列対応のガ

を学習し、

制服警察官数名が現れまし う構えをしっかり警察官に 為であり何ら問題ないとい たが、憲法で保障された行 伝えました。

答するよう通告しました。 の社員があらわれたため抗 議文を手渡し、 速やかに回 早朝の通勤時間帯にもか その後、商船三井総務部

現業部会視察学習会

港湾の発展

向 上

ました。 部がある新橋の港運会館周 の反応は良く、500枚の かわらず、ビラを受け取る 辺にも宣伝カーを運行し、 ヒラは30分ほどでなくなり 通行人(商船三井従業員) また、日本港運協会の本

12名が参加しました。

訴えました。 商船三井の不当労働行為を 初めての商船三井に対す

願いし、長きにわたる労働 宅肇 事務局長に講師をお 運動の中で、ご自身の経験 業部会視察学習会が行わ たかいの経過を軸に講義を を元に港湾情勢の変化とた 午前の部で大港労協の三 8月7日、毎年恒例の現 執行部7名、現業部員 要であるが、現状は220 日あたりの作業料金にもふ ることを強調されました。 らせることでは最重要であ 砦となり、 港湾の 秩序を守 度の復活に向けた運動を強 00~25000円となっ そして港湾船内・沿岸の 化しなければならないと埶 ていることから認可料金制 本来37000円は必



午前の部 三宅肇事務局長による講義

抗議文を手に商船三井本社へ

能センター 館内のガ

せてもらったり、技 荷役を間近で見学さ 作によるコンテナの

習会となりました

験に全員が興奮しまし

これからの港湾労働者の

育成の面では施設の充分

置を参加者も操作

普段出来ない体

シミュレーション装

ントリークレーンの

型特殊・牽引自動車の教習 実技教習。また、大型・大 湾荷役労働者に必要なフォ 埠頭の一角に6万平方メー を行い、作業に必要な免許 は神戸ポートアイランドの ました。 この研修センター 技能研修センターを見学し 本格稼働する一般財団法人 ・資格の取得を目的として 技能教習、クレーンなどの トルもある大型施設で、港 クリフト、玉掛けなどの 港湾労働安定協会 港湾 午後からは本年10月から

ッキクレーン、デリックク ントリークレーンと、船倉 現場に近い環境で、 ナを55個積み出来る船形 を模した40フィートコンテ ストラドルキャリアー、デ に訓練が出来る荷役機器を レーンなどの実機を使った

の講義時間では全然足りな など発言がされました。 込む内容で、質疑でもイン いほど、参加者全員が聞き ラウンドユー スとの矛盾点 ランドデポ問題やコンテナ 備えていました。 き、スプレッター操 ン実機のオペレータ

室に同乗させて頂

ガントリー クレー

るよう頑張りましょうと提 港労協、阪神支部ともに共 闘の中で港湾の将来を築け 問題に対し、 これからも大 起され、とても実のある学 最後に港湾が抱える産別

新研修センター 最新設備を見学 の

いに活用してはいかがでしいに活用してはいかがでしいに活用してはいかには大安定協会の助成金制度を活安定協会の助成金制度を活っている。 あることが分かりました。安全教育の充実した環境で 災防止協会の協力もあり、 よる技術の向上と、港湾労

ょうか。

現業部会長

発な運動を進めていきたい 部会の仲間と共に来期も活 沢山で運動してきました。 談会にも参加したりと盛り など問題山積ですが、 現業 思います。 インランドデポや自動化 支部労職対の港湾局懇

久保田 稔

合としての運動のける問題や労働組 なか聞けないこと課題など普段なか 働者の環境面でも があることを実感 安があるとは 将来に先細りの不 向上にまだまだ光 会では大阪港にお 今回の視察学習 職域の発展や 港湾労 ١١

施設内にあるシミュレーション装置

務職部会との合同学習会 会や視察学習会、そして事 連動は終えますが、定例部 今期の現業部会としての

研修センター視察の様子

カマやん

とそもかしこうたっとうための家族は

ふびんなヤツ

ありむら潜

好きなのこと

帰るであるとい

いとまた

-同で集合写真

参加者

育年部サ

ル者が出るなど開催が危ぶ 雨予報であったこともあり 20名が参加しました。 部青年部主催サマー レクリ タリゾート神戸に於いて支 十 ション企画を開催し 週間前に多くのキャンセ 週間天気予報では当日が

7月14日に三木市のネス などのアクティビティで泥 することができました。 あるアスレチックやバギー ました。 子供たちは園内に スタイルのお洒落な雰囲気 天候に助けられ無事に開催 まれましたが、 BBQではグランピング 美味しいお肉を食べ 小雨程度の

ゃぎで楽しん ながら大はし だらけになり でいました。

そして、参加 散でのレクリ 地集合現地解 試みとなる現 き、大満足の しく交流がで 日となりま た家族で楽 今回は初の 中で、分科会を充実させて うではないか」との趣旨の え、今年は労職対委員自ら 学習を行っていましたが、 もと、分科会一本の学習会 もらいたいとの意見を踏ま 者全員で1つのテーマにつ が各職種の講師役となり、 **職種別の分科会に分かれて** いての講義を受け、その後 これまでの参加者の意見の

まりよくなかったせいか、 募集段階から参加者がなか **画でしたが、交通の便があ** 今回の反省点を活かして

の参加を待っています。

えます。 これからも皆さん しんでいただける企画を考 今後もより多くの方々に楽

第23回阪神支部労職対学習交流会

参加者とともに深める知

館に於いて第23回労職対学 労職対委員10名の参加で行 例年は講師を招き、参加 7月13日、神戸市勤労会 29分会42名と

意見集約。 神戸港コンテナ 基準規則と快適な職場環境 構築と、通勤災害について の学習を行いました。

が出来ており、 置して問題なく熱中症対策 対策として塩飴や、水分補 科会を終えました。 給、ミスト扇風機などを設 を行い、どの分会も熱中症 ても問題ないとのことで分 安全に関し

ターミナル災害防止協会訪 事務職では、事務所衛生 カー・ディーラー訪問と トラックメ

Dを用いての学習と、熱中 症対策についての意見交換

見のまとめが報告がされま から各分科会で出された意 委員、事務職から大運分会 ら神陸分会の井上友寛さん の田村岳士さん、 いかと思います。 意見交換が出来たのでは

な 学習会終了後、全体で集 た。どの分科会も活発な 現業職から濱田健 乗務職か

基準法及び改善基準告示に 問の報告と意見集約。 労働

ついてQ&Aの学習を行い

立てていきます。 の安全衛生活動に役 を参考に、これから の意見やアンケート くのではないかと実 参加したみなさん



労職対委員自らが講師と

を高め、発展に繋がってい

会からの参加者を含めて阪 の向上への近道となり、 なることで委員自身の知識

職種別分科会学習会の様子



分かるかな?

uizlõuctui

あるところでは、四季が[秋] [冬]の [夏] [春] 順になってます。

しかも一週間は金曜日から始まります。 そこはどこ?

631号の回答「78」

10名からの応募があり、全員が正解でした。 抽選により、以下5名の方々に図書カードを進呈します。

西澤 宏・田原 宏・山本和慶(ジャパンEXP分会) 長野雄二(大運分会)、松井謙一(三林分会) 632号の締め切り日は9月13日(金)です。 ふるってご応募ください。